

地域や福祉施設等におけるレクリエーション活動をリードする レクリエーションインストラクター



地域の人々や子どもたち、学校や施設などで、集団を対象としてプログラムや活動を展開し、コミュニケーションの促進や個々人の主体性、協調性を引き出す方法を学習します。

また、地域社会の課題に目を向けて遊びや楽しさを活用した活動を展開できるようになるために、次のような知識・技能を身につけます。

① プログラムやアクティビティを展開するリーダーとなるための学習

集団を対象としてプレゼンテーションやプログラムのリードをするための知識・技能を身につけます。

② グループワークを活用する支援者・援助者となる知識・技術を学習

集団のコミュニケーションを促進したり、相互作用を活用しながら個々人の主体性や協調性を引き出し、育むための知識・技能を身につけます。

③ 地域活動の推進者としての学習

さまざまな遊び・趣味活動・レクリエーション（以下「レク」とします）を活用して、地域社会の課題に向けた活動を起こし、促進する推進者となる知識・能力を身につけます。



学習の進め方

養成講座の形式

資格取得に必要な学習時間は、都道府県レク協会等で開催される講習会を受講しながら積み上げて行きます。養成講習会の開講形式は全国的に、次のようなパターンに分けられます。

- 夜間型● 平日の夜に開講し、1回あたり2～3時間の学習を行います。週1回の開講により約半年間で資格取得が可能です。
- 週末型● 土曜日もしくは日曜・祝日の1日を使って開講し、1回あたり6～8時間の学習を行います。屋外での体験やまとまった演習などが行われます。8～10日間の受講で資格取得が可能です。
- 宿泊型● 土・日曜日など連続した休日に開講し、1回あたり15～18時間の学習を行います。3～4回の受講で資格取得が可能です。

受講料の目安

資格取得に必要な受講料は、1時間あたり500円～1,000円（資格取得までの総計で25,000円～50,000円）が一般的です。早期の申し込みやまとめて資格取得までの講座を申し込むことより割引されることもあります。

資格取得のための費用

- 受験料 1,000円（資格取得時のみ）
 - 公認料 5,000円（初年度のみ）
 - 登録料 11,000円（2年毎に更新）
- ※ 養成課程を修了し資格申請時に必要となります。



学習の流れ

レクインストラクター講習会を受講

都道府県・市区町村で開催されています。詳しくは都道府県レク協会へお問い合わせ下さい

必要なカリキュラムすべて履修

理論+実技+現場実習の3つの学習体系から学びます

資格認定審査

都道府県レク協会にて受験(筆記、実技、活動レポート等)

合格

資格認定・登録の申請



資格認定

認定証と資格証を交付

学習内容

学習内容の全体像(60H)は以下のとおりです。理論と実技科目共に、様々な演習や体験を通じて楽しくポイントを習得します。

●レクの基本を理解する(4.5H:レクの基礎理論)

レク語源や学説、私たちの生活から見たレクの姿などからレクのあり方を理解し支援者としてレクを活用する視点を学びます。

●支援する対象者を理解する(4.5H:レク支援論)

レク支援の対象となる「高齢者」や「子ども」「親子」、そして私たちが住む「地域」に焦点を当て、その特長や抱えている課題を把握し、レクを活用して支援することのできる視点を学びます。

●支援するための方法・技術を学ぶ(6H:レク事業論/6H:コミュニケーション・ワーク/9H:目的にあわせたレク・ワーク/6H:対象にあわせたレク・ワーク)

対象者との信頼関係を築きつつ(コミュニケーション・ワーク)、対象者にあわせた(対象にあわせたレク・ワーク)事業・イベント

トの企画(レク事業論)や、レク・プログラムの提供が効果的に実施(目的にあわせたレク・ワーク)できる方法や技術を学びます。

●レク支援の実践力を身に付ける(7.5:演習Ⅰ/7.5H:演習Ⅱ)

レク支援に活用できる素材・活動の体験(演習Ⅰ)や、対象を想定したレク・プログラムの企画・実施・評価のプロセスの体験(演習Ⅱ)を通したレク支援の総合的な実践力を身に付けます。

●レク支援の現場を体験する(9H:現場実習)

習得した理論や実技の学習内容を土台に、それらが実際の現場でその様に活用できるかを、事業の参加者として、そして運営スタッフとして、両方の視点で体験することにより、資格取得後の具体的な活動イメージを描くことができます。

学習の免除

次の資格を保有している場合(有効期限内のものに限る)、レク・インストラクターの学習が一部免除されます。

詳しくは講習会の主催者もしくは都道府県レク協会にお尋ね下さい。

●日本協会の加盟団体が発行する指導者資格や普及審判員資格

●野外活動団体(日本キャンプ協会、日本サイクリング協会、日本オリエンテーリング協会、日本ユースホステル協会)が発行する指導者資格

インストラクター/野外活動指導者1・2級

●日本体育協会や健康・体力づくり事業財団が発行する指導者資格(スポーツリーダー、アシスタントマネジャー、クラブマネジャーを除く)

指導員・上級指導員/コーチ・上級コーチ/教師・上級教師/ジュニアスポーツ指導員/スポーツプログラマー/フィット

ネストレーナー/アスレチックトレーナー/健康運動指導士/健康運動実践指導者

●チャレンジ・ザ・ゲームに関する資格

チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員

●音楽、美術、体育、技術の中学校以上の教員免許

●救急法に関する認定証および認定資格

赤十字救急法基礎講習修了者認定証/赤十字救急法救助員認定証/赤十字水上安全法救助員Ⅰ・Ⅱ認定証/赤十字雪上安全法救助員Ⅰ・Ⅱ認定証/赤十字幼児安全法支援員認定証/その他、消防署等が開催する応急手当や救命講習会の修了認定証

事例1



青木千佳さん(神奈川県)

幼稚園教諭を目指しているときに、レクの学習をしました。大勢の人の前に立つのが苦手で、そんな苦手意識を克服し、自分の自信につながればという思いがあったからです。学習の中でスポーツチャンバラや自然の中の遊びに対する視野がとても広がり、子ども達と遊ぶときも学習したことをうまく出しながら一緒に楽しめます。子どもたちが「今日は楽しい」といって帰って行くのが一番うれしいです。

事例2



荒木秀一さん(秋田県)

介護老人保健施設でレク・ワーカーとして働いています。施設での利用者の生活がより楽しく、豊かになることを心がけて、仲間作りやコミュニケーションが取り合えるプログラムを行うなど、身体機能の維持・向上にも気をつけています。レクリエーションの学習で「楽しさ」を通した支援を考えられるようになり、それが今、役に立っています。

●お問い合わせ●

都道府県レク協会へ直接問い合わせてください。(連絡先はウェブをご覧ください)

http://www.recreation.or.jp/link/states_kyokai.php

又は下記へご連絡していただき、都道府県レク協会の連絡先をご確認下さい。

(財)日本レクリエーション協会 組織・人材支援部 TEL:03-3265-1369 FAX:03-3265-1245

URL <http://www.recreation.or.jp> e-mail: jinzai@recreation.or.jp